

特集

“ながさき”の本を読む

ホームページ

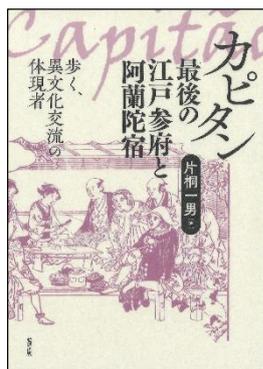


長崎について書かれた本(地域資料)には、その土地に暮らす人々の文化が蓄積されています。さまざまなテーマで出版されていますが、なかなか手に取る機会がないという方もいらっしゃるのではないのでしょうか。そこで、今回は長崎に関する本をご紹介します。令和元年の年越しを“ながさき”の本とともに過ごしてみたいはいかがでしょうか？



『長崎游学 14
作家たちに愛された長崎を歩く』
長崎文献社 2019年
N291.93ナ (2階地域資料)

美しい自然と特有の歴史や文化を有する長崎は、優れた文学者を輩出し、多くの文学作品の舞台となってきた。長崎出身の文学者や、長崎を舞台とする作品などを、ゆかりの地とともに紹介。



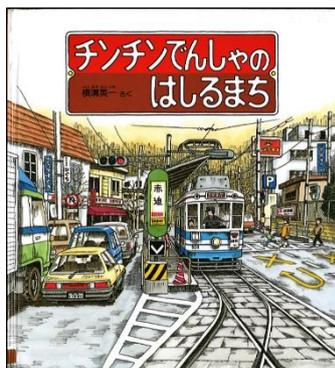
『カピタン最後の
江戸参府と阿蘭陀宿』
片桐 一男/著
勉誠出版 2019年
N210.5カ (2階地域資料)

鎖国下、出島のカピタン(オランダ商館長)が日蘭貿易の継続を求めて行った「江戸参府」。その最後の旅の全行程を、国内外の史・資料から再現。旅の様子が伝わる多数のエピソードを紹介。



『高校生平和大使に
ノーベル賞を』
「高校生平和大使に
ノーベル賞を」刊行委員会/編
長崎新聞社 2018年
N319.8コ (2階地域資料)

核兵器廃絶を求める署名を毎年夏に国連へ届けている高校生平和大使が、2018年ノーベル平和賞の候補として正式にノミネートされるまでの軌跡を綴る。



『チンチンでんしゃの
はしるまち』
横溝 英一/さく
福音館書店 2002年
ナEヨ (1階児童 長崎資料)

「チンチン電車」の愛称で親しまれている路面電車。人々の暮らしの中に根付いているチンチン電車の活躍を、長崎の懐かしい街の風景とともに描いた絵本。

図書館の2階に、
長崎に関する本を集めた
「地域資料コーナー」が
あります。
ぜひご覧ください！



2階

地域資料

エレベーター

カウンター





富永児童文庫

故富永和徳様が青少年健全育成活動の一環として、読書を通して豊かで明るい人づくり社会づくりに貢献したいという趣旨で、昭和56年に3,484冊(300万円相当)の図書で文庫を創設され、その後、平成24年までの32年間にわたり毎年寄贈を続けられました。

平成25年からはご子息の富永和照様がそのご遺志を引き継がれ、今年も57冊(10万円相当)の図書をいただき、寄贈図書の合計は7,407冊になります。

【休館のお知らせ】

長崎市立図書館 は、下記の期間、**休館** いたします。
ご不便をおかけいたしますが、ご理解のほど、よろしくお願いいたします。

詳細は館内のポスターまたはホームページをご覧ください。

【蔵書点検に伴う休館】

休館期間：2019年 **12月5日(木)～12月10日(火)**

【年末年始に伴う休館】

休館期間：2019年 **12月29日(日)～2020年1月4日(土)**



【貸出期間の変更】

休館に伴い、下記期間中は、貸出期間を**3週間**に変更します。

対象期間：2019年 **11月21日(木)～12月28日(土)**

※香焼図書館、その他の公民館等図書室の開室状況は、各館へおたずねください。

「図書館からのお年玉 2020」

図書館からのお年玉(雑誌の付録)を無料で配布します。(おひとり1つまで)



当日4冊以上借りた貸出レシートを、1階カウンターでご提示ください。皆さまのご来館をお待ちしております。

【期間】2020年 **1月5日(日)・6日(月)**

【場所】長崎市立図書館 1階カウンター

【時間】11:00～11:30、14:00～14:30、
16:00～16:30 (各回なくなり次第終了)



今年も長崎市立図書館をご利用いただき
ありがとうございました！
良いお年を
お迎えください。

